

平成26年度食育推進関連事業の主な取り組み実績について

I.食育推進事業

26年度予算額 8,421千円(国庫 793千円 一般財源7,628千円)

【主な事業の取り組み実績】

(1)食育推進体制整備事業

1)奈良県食育推進会議の開催

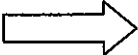
- H26.10.14 ・健康長寿に寄与する要因等の研究結果について
 ・平成26年度減塩に関する事業について
 ・平成26年度食育推進事業について
- H27.3.17 ・平成26年度食育推進事業の主な取組実績について
 ・平成27年度食育推進事業の主な取組予定について

2)市町村の食育推進計画策定および食育推進に対する支援(県・保健所)

保健所による計画策定の支援および食育推進支援

- ・市町村食育計画策定会議への参画および支援 8市町村
- ・市町村の食育推進への支援 21市町村

市町村の食育推進計画策定状況 別紙1

平成26年3月末		平成27年3月末(予定)
24市町村(策定率61.5%)		26市町村(策定率66.7%)

3)効果的な食育推進施策検討のためのデータ分析を実施

平成23年県民健康・栄養調査の結果分析から食育推進施策の検討を行う。
 帝塚山大学 現代生活学部 食物栄養学科 講師 岩橋 明子氏に依頼。
 結果は「奈良県民の食生活の現状と課題～平成23年県民健康・栄養調査結果からの検討～」。別紙2

(2)食育推進普及啓発事業

1)食育担い手等の育成

①食育推進リーダー（管理栄養士・栄養士等）の質の向上を図るスキルアップ研修会の実施

・保健所合同研修会

H26. 9. 30 日本人の食事摂取基準(2015年版)の考え方、活用について 44人

H27. 3. 11 食物アレルギーの基礎と対応について

・保健所での研修会 全保健所計 5回

②食育ボランティア（食生活改善推進員、健康づくり推進員等）の資質向上のための研修会の開催、活動支援 全保健所計 28回

③食育県民講座の開催

食育に関する専門的知識の提供を通じて、食育の理解者を増やし、健康的な食生活の実践者や普及者の増加を図るため、栄養士養成大学（畿央大学・近畿大学・帝塚山大学・奈良佐保短期大学・奈良女子大学）と連携し食育県民講座を実施。

1 「おでかけ健康フェスタ」で実施した食育県民講座 別紙 3

H26. 11. 9 食に関する展示や「親子 de 食育クイズ」

2 大学で実施した食育県民講座 別紙 4

テ ー マ：「適塩」

実 施 日：H27. 2. 7、H27. 2. 13

実施場所：畿央大学、奈良佐保短期大学

2)保健所食育推進連絡協議会による管内の食育推進

①保健所食育推進連絡会議の開催

各保健所 1回開催

内容：市町村に対する食育推進計画策定支援の状況および計画に基づく食育の実施状況について

働き盛り世代を対象とした食育の推進について

高齢者の食事支援について

②保健所食育推進連絡会議所属団体による食育イベントの開催や食育普及媒体等の検討。

- ・県内 8 箇所のスーパーマーケット、大学、高校等で食育イベントを実施。
- ・(旧)桜井保健所では 9 月を管内一斉食育月間とし、食育関係機関と連携し、統一ポスターの貼り出しをはじめとした一斉取り組みを実施。

3)「食育作文」の募集

次世代を担う小学生や若い世代をはじめとする多くの世代が食について考え、関心を持つことを目的に、食育作文コンテストを実施。

対 象 者：小学生以上で県内在住または県内在学・在勤者

募集部門：①小学生の部 ②中学生の部 ③高等学校の部 ④一般の部

入 賞：各部門 最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点

表 彰：県主催の「おでかけ健康フェスタ」（平成 26 年 11 月 9 日（日）実施）において表彰。

入選作品紹介：県ホームページ、県広報紙、新聞等で紹介

新聞掲載記事（奈良新聞 H27. 1. 24）別紙 5

(3)食育推進環境整備事業

1)健康なら協力店事業

栄養成分表示やヘルシーメニュー、朝食の提供に取り組む店舗や施設内禁煙に取り組む店舗、施設等を「健康なら協力店」として募集し、これら協力店の拡大、充実を図る。

協力店数（平成 27 年 2 月末現在：283 施設）

○栄養成分表示店：217 店舗 （新規 5 店舗）	○ヘルシーメニュー提供店：117 店舗 （新規 3 店舗）
○朝食メニュー提供店：35 店舗 （新規 2 店舗）	○禁煙推進店：96 施設 （新規 8 店舗）

2)妊産婦および幼児期の食育教材の普及

健診や教室で活用をすることにより、正しい食生活の実践を図るため、平成 25 年度に作成した妊産婦用パンフレットや幼児用パンフレットを印刷し、産科医療機関、市町村保健センターに配布。

- ・ママと赤ちゃんの将来までの健康を守るための栄養ガイド **別紙 6**
- ・子どもの発達と食事ガイド **別紙 7**

(4)なら健康減塩食プロジェクト事業 **参考資料 2** **別紙 8** **別紙 10**

次世代への減塩対策を視野におき、子育て世代を対象に、県民がやってみようと思う減塩ツールの作成と効果的に普及啓発する手法を専門家を交えて検討。

1)子育て世代の食生活に関する調査及び分析

グループインタビュー 5 会場（30 名）

2)プロジェクトメンバーの決定及び学習会開催

プロジェクトメンバー決定（14 名）

学習会 2 回

3)減塩ツール作成

ワークショップ 2 回

紙芝居「げんえもんと一緒にいく減塩修行の旅」
リーフレットの作成

4)減塩ツールの普及啓発方法の検討



Ⅱ.健康寿命を延長する取組推進モデル事業 (減塩対策分野)

26年度予算額 3,500千円(一般財源3,500千円)

高血圧のハイリスク者を対象として減塩教室プログラム(以下「プログラム」という。)を作成し、モデル市町村において実施。

【取り組み実績】 別紙9 別紙10

- 1)市町村が実施している減塩等に関する事業の実施状況や課題抽出の調査の実施
- 2)プログラム(案)作成
- 3)プログラム(案)の試行実施

モデル市町村(広陵町)で高血圧の人のための減塩教室実施

(H27.1.26、H27.2.2、H27.2.12)

4)効果検証・プログラム(案)修正

講座、体験型演習、歌など複数のコンテンツで構成された教室プログラムが完成する予定。各市町村で教室を実施する場合、地域の実状に合わせた形でプログラムの組み立てが可能。また、市町村の保健師・栄養士が実施できるよう指導者用マニュアルも作成予定。

【教室プログラムのコンテンツ】

- ・講座(塩について知る、適塩生活のアドバイス等)
- ・塩分チェックシート
- ・味噌汁で味覚チェック
- ・7種類の塩を比べる
- ・簡単で美味しい減塩生活のコツを学ぶ(減塩の工夫とレシピ)
- ・うた「楽しい適塩生活」

5)モデル市町村との事業報告会 H27.3の予定

Ⅲ.スーパー食育スクール事業

26年度予算額 3,961千円(国庫10/10)

学校における様々な活動を通して、児童生徒の心身の健全な育成を図ることを目的に、栄養バランスのとれた学校給食を活用し、学校における食育を推進した。モデルとなる学校をスーパー食育スクールに指定し、栄養教諭を中心に外部の専門家を活用しながら、各種関係機関との連携を図り、食育プログラムの開発等に取り組んだ。

【取り組み実績】 別紙11

1) 奈良県スーパー食育スクール事業推進会議の設置

- ・実践校の課題等を把握し事業内容、実施方法について協議と指導を行った。
- ・本事業の成果について検証した。

2) 推進地域による調査研究

推進地域:大和郡山市

実践校:大和郡山市立治道小学校

テーマ:「食と健康」～心と体の健康は充実した食から～

- ・外部の関係機関と連携し食育プログラムの研究を行った。
- ・栄養教諭を中心に専門家を活用して食育を推進した。

3) 食育講演会・報告会の実施

- ・取組について周知し、県内の食育推進の一助とした。

4) 報告書の作成

- ・報告書を作成し、文部科学省、都道府県教育委員会、県内各市町村教育委員会、県内各学校(園)等に配布することにより本事業の成果を発信・周知した。